

はじめに

筆者の歯科医師歴は45年、開業歴は37年になる。そのなかで気づいたことがある。歯科医院の成功とは、患者からの信用の獲得と患者との信頼関係の長期継続であること。補綴、矯正、審美、歯周、歯内、インプラントなど、どれほど新しくよい治療法であっても、患者さんが歯科医師を信頼してくれないかぎり、受け入れられることはない。つまり、信用がいちばん大切だということだ。

歯科医師は決して楽な職業ではない(図1)。負債の返済、医療過誤への配慮、保険医療の制約、増加する税金、そしてスタッフと患者に関する歯科医院のマネジメントなど、日々のストレスが存在する。ここに来て、経済の低迷も続いている。

さらに、2020年以降はコロナ禍が追い討ちを掛けてきた。ふと気づいたら、自分は高齢者、俗にいう年寄りになっていた。しかし、そのような状況でも現在の歯科医院をさほど浮き沈みなく続けていけるのはなぜなのかと自問してみる。2019年 U.S. News & World Reportは、米国における最もよい仕事10傑の4位にDentistが選ばれたと報告している。なぜなのか(図2)。

本書は筆者の経験をもとに、これからの日本の歯科医療を背負って行く若い先生方に少しでも役立てたらという思いで書き綴ってみた。

2023年3月

岩田健男

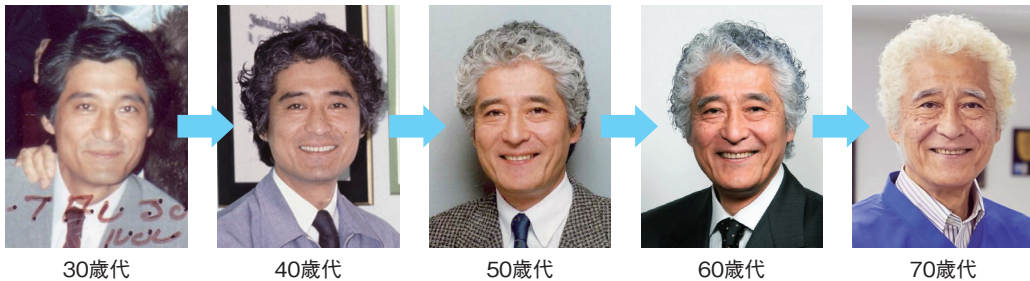


図1 歯科医師は決して楽な職業ではない。年を経るごとに体力は落ちるし、ストレスによる老化も蓄積する。70歳になって、視力と気力がガクリと落ちた。精密な仕事に陰りがみえ、同時に歯科医師としての先もみえ、リタイアを考え出した。そして、あきらめの境地に辿り着いたら、患者にもスタッフにもおらかな自分がいた。「一生懸命やって10年。少しくまくなったと思って、また10年。もう10年やったら、下手なことがわかった。40年以上やったらもう何が何だかわからなくなるのだろうか?」

- 1位 Software developer (ソフトウェア開発者)
- 2位 Statistician (統計学者)
- 3位 Physician assistant (医師助手)
- 4位 Dentist (歯科医師)
- 5位 Nurse anesthetist (麻酔専門看護師)
- 5位 Orthodontist (矯正歯科専門医)
- 5位 Nurse practitioner (実地看護師)
- 8位 Pediatrician (小児科医)
- 9位 Obstetrician & gynecologist (産科医と婦人科医)
- 9位 Oral and maxillofacial surgeon (顎顔面口腔外科医)
- 9位 Physician (内科医)
- 9位 Prosthodontist (補綴専門医)

図2 それでもやっぱり、歯科ほどよい仕事はない。なぜなのか(米国2019年版最もよい仕事10傑, U. S. News & World Reportより引用改変)